

# 指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：平成30年度）

担当部署名	健康福祉部 健康づくり課
評価対象期間	平成30年 4月 1日 ～ 平成31年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	0 円

## 1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市健診センター
	所 在 地	松阪市殿町1550番地
	設置目的	平成17年1月1日、1市4町の合併により浮き彫りとなった保健医療面における医療の供給の不足（医師、看護師等のマンパワー）による過疎地域と市街地との格差に対する不安を補い、市民の安心の確保のための体制を整える。この不安解消に向けた現実的な方法として、予防を中心とした保健施策の充実を図り、新市の健診事業の中核、市全体の健診事業の受け皿として、市民病院の隣接に拠点を整備し、市民の保健医療への安心の構築を図る。
	設備の概要	指定管理面積：1565.75㎡（1階193.00㎡・2階1372.75㎡）

## 2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	公益社団法人 松阪地区医師会
	所 在 地	松阪市白粉町363番地
指定管理業務の内容		
(1) 健診事業の提供に関すること (2) 医学的検査の実施に関すること (3) かかりつけ医の推進及び保健予防事業との連携に関すること (4) 病診連携に関すること (5) センターの施設等の維持管理に関すること (6) センターの利用料金に関すること (7) センターの目的を達成するために市長が必要と認める業務		
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	開設後11年が経過し、健診センターの利用者も年々増加している。検査部門においては市民病院・会員医療機関との連携もスムーズに行なわれており、順調に経営している。市民病院の外来診療においては、検査結果の診療時間内結果報告体制を構築、会員医療機関の緊急検査には日直にて24時間体制を敷き、対応している。健診業務においては施設内健診を受けやすくするべく当センター独自の安価で中身の濃いメニューを作り、受診者ニーズに応えている。
	サービスの質の向上	健診部門では当センター独自の半日ドック、1日ドックを設け受診者がより利用しやすく安価で内容の充実した健診に配慮した。また、受診者の要望が多い検査項目の導入（オプション検査等）や、2診体制での受け入れを図りさらなる円滑な健診体制づくりなど受診者ニーズに対応している。地域保健への取り組みでは、へき地における無料健康診断をはじめ各地区への公益事業に積極的参加をし、地域保健の向上並びに市民参加の促進、啓発を図るべく努力をした。検査部門においても昨年同様、新規検査項目の導入や精度管理の徹底、迅速な検査体制のさらなる充実を図った。平成28年度より肺がん検診による二重読影を実施、精度を向上させることで、より地域住民の健康管理に大きく貢献できた。
	施設・設備等の維持管理	健診部門及び検査部門において、市民病院との月1回の医療安全対策委員会の継続的実施、インシデント・アクシデントの内容について十分に検討し対策を講じ再発防止に取り組んでいる。また、検査・健診部門共に検査機器等の更新、新規導入を進め質の高い検査・健診が行えるよう努力した。健診部門では在宅医療ポータブル撮影を継続、利益率に係わらず地域医療のニーズに対応した。施設内の清掃は毎日実施し、医療機器の保守点検・安全使用に関する体制（マニュアル）、施設内感染対策のための指針及びマニュアルを整備した。また、危機管理委員会を設置し、防災対策を中心に各安全管理に取り組んでいる。

指定期間	平成20年1月4日 ～ 令和5年3月31日
------	-----------------------

（単位：円）

		事業計画	事業収支実績				
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業収支推計	収入	指定管理料	0	0	0	0	0
		事業収入	970,980,000	882,239,359	951,243,449	966,789,889	992,492,545
		事業外収入	41,311,000	72,413,276	31,808,079	6,847,627	48,740,710
		計 (A)	1,012,291,000	954,652,635	983,051,528	973,637,516	1,041,233,255
	支出	人件費	462,939,000	388,028,483	428,866,228	454,313,412	431,316,627
		事務費	527,373,000	421,184,384	477,418,478	514,492,236	505,580,163
		事業費					
		計 (B)	990312000	809,212,867	906,284,706	968,805,648	936,896,790
収支差引額 (A) - (B)		21,979,000	145,439,768	76,766,822	4,831,868	104,336,465	65,630,913

### 3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目		指定管理者自己評価		担当部署評価	
業務運営項目	内容	採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	5	A	5	A
	②施設設置目的の達成度	5		5	
	③利用者数	5		5	
	④運営状況	5		5	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	5		5	
	⑥意思疎通	5		5	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	5		5	
	⑧地域の振興・活性化	5		5	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	5	A	5	A
	②利用者の平等な利用	5		5	
	③適切な情報提供	5		5	
	④利用促進・PR	5		5	
	⑤非常時・緊急時の対応	5		5	
	⑥苦情解決体制及び対応	5		5	
	⑦自主事業	5		5	
	⑧利用者アンケートの実施	4		4	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	5	A	5	A
	②備品・什器等の保守点検	5		5	
	③修繕業務	5		5	
	④樹木・植栽等管理業務	5		5	
	⑤清掃業務	5		5	
	⑥鍵管理	5		5	

【(注1)のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-(2)の採点基準にて評価】

#### 4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
<p><b>【努力した点・成果等】</b></p> <p>健診部門では、市民病院との協体制の強化、胃がん検診における胃部内視鏡検査の受け入れ枠を昨年と同数以上確保した。また、人間ドック検査において、腹部超音波検査の受け入れ枠を増やし受診者ニーズに応える努力を行った。検査部門では、行政と協力の基、胃がん撲滅委員会を立ち上げ、平成29年度は、市内私立中学校を対象に、平成30年度からは、市内公立中学校も含め学童検診の検尿を利用したピロリ菌検査を実施し、胃がん撲滅における普及活動に努めた。</p>	<p><b>【評価すべき点】</b></p> <p>開設以来、健康診断の機会を増やすなど市民及び関係機関のニーズに応えるべく健診・検診体制の整備を行い実績も顕著である。</p> <p>また、将来を担う中学生を対象とした胃がん撲滅のためのピロリ菌検査の実施など、今後の地域住民の健康管理に貢献されることが期待出来る。これらの成果として今後も安定的な経営が見込まれる。</p>
<p><b>【改善すべき点】</b></p> <p>健診部門に於いて、年々の受診者数増加に伴い、受け入れ枠は飽和状態にある。特に特定健診実施期間等に申し込みが殺到するため、受診者のご希望に十分応えられない状況となっている。がん検診に於いては、なるべく多くの市民に受診していただけるように、受け入れ時期を後半（1月～2月）に分散させ、年間を通じ均等化することで受診枠を有効に生かせる対策が必要と思われる。</p>	<p><b>【指導すべき点】</b></p> <p>特にありません</p>
<p><b>【所属長意見（今後の方向性等）】</b></p> <p>健診センターは開設から11年が経過し、過疎地域等への医療不安の解消や健診事業の拠点として運営されるとともに、平成20年度からの特定健診においても医療機関との連携により保健指導の取組みがなされるなど、これまでの利用者増加に裏付けられるように地域の保健医療の推進拠点として定着しており、その目的や役割を着実に遂行されていると評価します。</p> <p>今後も市民の健康を取り巻く情勢や市民ニーズに応じた健診の受診しやすい環境づくりに努めるなど、さらなる健診受信者の確保による安定した経営を目指し、地域医療・地域保健の拠点としてその役割は大きいと考えます。</p>	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる